

Ⅱ 緩和ケアスクリーニングの運用事例

3

高山赤十字病院—総合病院の事例

浮田雅人*¹ 上野恵子*¹ 田和亜樹*²

はじめに

高山赤十字病院（以下、当院）は、岐阜県飛騨地方（高山市・飛騨市・下呂市・白川村、人口計約15万人）の中心高山市にある公称476床（実働395床）のがん診療連携拠点病院である。救命救急センターを併設し、飛騨地方で唯一の放射線治療装置（ライナック）を備えている。緩和ケア病棟はないが、多職種からなる緩和ケアチームがコンサルテーション型の活動をしている。

当院では2012年1月より富士通社製電子カルテシステム（EG-MAIN GX V06）を使用している。テンプレート機能を用いると、帳票形式の入力画面を表示して、文字を入力したり、選択肢から選んだり、候補にチェックを入れたりすることにより、一定の形式で電子カルテに記事を入力することができる。テンプレートで入力すると経過表画面に表示されるので、何月何日にテンプレートを用いたかが分かる。テンプレートビューワーを用いると、入力した内容を表形式で経時的に表示することができる。

緩和ケアチームでは、がん患者の苦痛のスクリーニングに取り組むに当たり、このテンプレート機能を活用することにした。まず、第1段階としておも

に入院患者の身体的苦痛を評価するために、「痛みの評価シート」のテンプレート化を行った（資料1～3）。第2段階として、入院・外来を問わず、全人的苦痛のスクリーニングのため、「生活のしやすさに関する質問票」の質問用紙の作成とテンプレート化を行った（資料4～6）。さらに、「痛みの評価シート」については過去1年間の活用状況を調査した。「生活のしやすさについての質問票」については緩和ケア週間を強化週間とし普及啓発を行った。

スクリーニングを運用するまでの経時的記録

①「痛みの評価シート」

2014年2月3日に開催された岐阜県がん診療連携拠点病院協議会 緩和医療専門部会において、がん診療連携拠点病院指定要件の変更点についての情報提供がなされた。その中で「がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛等のスクリーニングを診断時から外来及び病棟にて行うこと。また、院内で一貫したスクリーニング手法を活用すること」という新要件が示された。そこで、2014年4月から、緩和ケアチームの医師1名と看護師2名で苦痛のスクリーニングについての検討を開始した。

*¹ 高山赤十字病院 緩和ケアチーム *² 同 がん相談支援センター

実践の場においてがん患者の苦痛をスクリーニングするにはどのような形にしたらいいか、どのように評価するか、を検討していく中で、すでに院内にあったがん性疼痛治療マニュアルの中の「痛みの評価シート」（緩和ケア普及のための地域プロジェクトにあるものを一部改変したもの）を使用すること、電子カルテに簡単に入力ができるように「痛みの評価シート」のテンプレートを作成して、記入はすべてクリック方式や選択式としおおむね週1回評価すること、経過表の看護指示の観察項目に「痛みの評価シート」と同じ項目を作成して毎日評価できるようにすること、などを決定していった。帳票画面はまず手書きし、テンプレートと観察項目の作成は企画調整課情報システム係に依頼することとした。

既存の「痛みの評価シート」を使用することにしたため、テンプレート完成にはそれほど時間を要さなかった。看護指示の観察項目の追加には、看護記録委員会の承認を必要とした。看護師長会、看護係長会、医局会で苦痛のスクリーニングの必要性や入力方法の説明を行った。病棟スタッフへは、看護記録委員、看護係長から伝達を行った。2014年9月の院内緩和ケア勉強会において痛みを抱える患者を寸劇で演じ、参加者に「痛みの評価シート」を経験してもらった。これらの取り組みを経て、2014年10月より「痛みの評価シート」のテンプレートと観察項目の運用が始まった。

②「生活のしやすさに関する質問票」

2014年12月1日に開催された岐阜県がん診療連携拠点病院協議会 緩和医療専門部会において、他施設でのスクリーニングの取り組みについての情報提供がなされた。県内7つのがん診療拠点病院のうち、岐阜大学附属病院、岐阜県総合医療センター、大垣市民病院の3病院はすでに「生活のしやすさに関する質問票」の活用が始まっていることが示された。各病院で「生活のしやすさに関する質問票」の内容は微妙に違いがあり、それぞれ工夫が施されて

いた。

そこで、緩和ケアチームの声かけで、がん患者の苦痛のスクリーニングについての検討会を院内に設置し、当院バージョンの「生活のしやすさに関する質問票」について検討を始めた。検討メンバーは、緩和ケアチームより、医師1名、緩和ケア認定看護師1名、看護部より看護師長2名（外来師長、退院調整課長）、看護係長2名（病棟、外来）、がん化学療法認定看護師1名、とした。テンプレートの作成は企画調整課情報システム係に依頼した。

2014年12月19日第1回ミーティング：県内各がん拠点病院の「生活のしやすさに関する質問票」を供覧した。当院バージョンとして、気持ちのつらさについては寒暖計でたまかに問うだけではなく、病気のこと、検査のこと、治療のこと、仕事のこと、生活のこと、家族のこと、人間関係について、今後のこと、などの分類ごとに問うことにした。質問票を紙ベースで作成し、電子カルテに簡単に入力できるようにテンプレートを作成することとした。また、患者・患者家族・医療スタッフが「やってよかった」と思えることに重きを置くことが確認された。

2015年1月16日第2回ミーティング：患者に質問票を渡す手順、質問票を受け取り情報入力する手順、質問票を分かりやすい文面にすることなどを話し合った。入力業務は、医療秘書も行えるようにした。質問票の文面は、検討メンバーの家族にプレテストを行い、読みやすさや理解しやすさを点検することとした。

2015年2月20日第3回ミーティング：「生活のしやすさに関する質問票」の患者向け説明用紙、運用マニュアル、テンプレート入力マニュアルを作成した（資料7～9）。質問票はA3用紙を左右見開きの2つ折りとした。質問票だと一目で分かるよう、淡いピンク色の長形3号サイズの専用封筒を用意した。看護師長会、看護係長会、外来看護師カンファランス、医局会などで伝達するなどの取り組みを経て、2015年4月より「生活のしやすさに関する質問票」の運用が始まった。

現在の運用体制

① 外来

外来ではおもに「生活のしやすさに関する質問票」を運用している。質問票を患者に渡すのは原則として外来主治医で、診察の介助についている看護師または看護助手が気を利かせて質問票の入ったピンク封筒を主治医に差し出すようにしている。渡すタイミングは、がんと診断されたとき、治療や検査のため入院が決定したとき、治療方針が変更されたとき、などを推奨している。

外来患者の場合、質問票は次回の外来受診時に看護師が受け取り、記載が不十分な場合は看護師が患者に寄り添って記入を助けている。診察時に主治医が内容を確認した後、医療秘書によりテンプレート入力がされている。入院予約された患者は、入院サポートセンターでオリエンテーションを受けるルールになっているので、入院時に質問票を持参するよう促している。

外来化学療法室では患者の滞在時間が長いことを利用し、「痛みの評価シート」や「生活のしやすさに関する質問票」で得られたデータを看護に生かすようにしている。

② 入院

入院では、特に痛みのコントロールが必要な患者で「痛みの評価シート」を用いている。テンプレートによる評価は週1回とし、毎日の評価は経過表の看護指示の観察項目に入力している。

外来で渡された「生活のしやすさに関する質問票」は病棟看護師が受け取っている。入院中に病状が変化したとき、治療方針が変更となったときなどにも原則として入院主治医が質問票を渡すこととしている。ここでも病棟看護師が気を利かせてピンク封筒を主治医に差し出すようにしている。質問票は病棟看護師が受け取り、記載が不十分な場合は看護師が患者に寄り添って記入を助けている。内容を主

治医が確認した後に、病棟看護師によりテンプレート入力がされている。

③ 「痛みの評価シート」の活用状況

2014年10月1日から2015年9月30日までの1年間で、「痛みの評価シート」のテンプレートはのべ156回使われていた。実人数は51人で、患者1人1入院あたり平均2.8回であった。診療科別では、内科51%、泌尿器科22%、外科14%、産婦人科8%、耳鼻咽喉科5%と主要な診療科で活用されていた。病棟別では、救命救急センターと回復期リハビリ病棟を除くすべての一般病棟で使われていた。

④ 「生活のしやすさに関する質問票」の強化週間

2015年4月から「生活のしやすさに関する質問票」の運用を開始したが、実際のところほとんど使われていなかった。ピンク封筒とマニュアルを各科外来、各病棟へ設置したが、存在すら知らない医師や看護師がほとんどだった。そこで、10月の緩和ケア週間を強化週間として、外来（内科・外科・泌尿器科）、外来化学療法室、病棟（内科・外科・泌尿器科）に協力を依頼し、告知済のがん患者のリストアップと主治医への予告を行い、質問票の普及啓発を図った。強化週間中に65名分の質問票が回収された。性別は、男性55%、女性45%であった。患者の年齢別では、70歳代28%、60歳代25%、70歳代と80歳代が共に19%であった。回収場所は、外来が80%、外来化学療法室が13%、病棟が7%であった。

課題と将来

① 痛みの評価シート

1年間の活用状況から、「痛みの評価シート」の対象患者であっても入力されていないことがあるの

が分かる。これは看護師への動機づけが不十分なためと考えられるので、看護師には「痛みの評価シート」の入力を繰り返し周知する必要がある。

「痛みの評価シート」を看護師の評価だけにとどめず、医師を含めた多職種との連携に活用していく必要がある。まずは医師への周知、病棟で看護師が行っているミニカンファレンスへの主治医の参加を促す必要がある。

② 生活のしやすさに関する質問票

強化週間中にかなりの調査票が回収できたことから、対象患者のリストアップと主治医への意識づけが大切だと分かる。たとえば、入院診療計画書は作成が義務づけられており、医師も看護師も十分な意識づけがされていることから、がん患者の苦痛のスクリーニングについてもそれと同等な意識づけが必要である。特に外来において、がんと診断されたとき、治療や検査のため入院が決定したとき、などに質問票を渡すよう習慣づける必要がある。

緩和ケアチームには年間100件近くのコンサルテーションが寄せられている。現状ではすべてのケースで「痛みの評価シート」や「生活のしやすさに関する質問票」が記入されているわけではない。コンサルテーションが寄せられたら、まずそれらのテン

プレートの入力を促すことから始める必要がある。

以前は、身体的苦痛のケアが主流だったコンサルテーションの内容が、精神的ケア、家族ケア、意思決定支援、療養の場の選択に移ってきている。「生活のしやすさに関する質問票」には患者のニーズが現されている。患者が抱える全人的な苦痛をスタッフが共有し、多職種で役割分担をして患者に効果的に対応する必要がある。しかし、緩和ケア病棟のない当院では、多職種による病棟でのカンファレンスが根づいていない。多職種からなる緩和ケアチームが積極的に関わり、主治医や看護師と他職種との連携を強化し、患者のニーズに応じた的確な援助をする必要がある。

おわりに

電子カルテでの情報共有を意識した「痛みの評価シート」「生活のしやすさに関する質問票」の現状と課題について報告した。今後も緩和ケアチームが牽引役となり、苦痛のスクリーニングの普及啓発と多職種協働での患者援助に取り組んでゆきたいと考えている。

資料3 痛みの評価シート テンプレートビューア

9月12日分

9月19日分

テンプレートビューア検索

クライアント: 痛みの評価シート | 検索条件: 2014/09/12 | 人数: 2014/09/12

検索結果: 1件

項目	2014/09/12	2014/09/19
○日常生活への影響	0-1(軽微)	3(中程度の痛み)
○痛みへの対処	1(ほとんど痛みがない)	2(痛みは時々ある)
○痛みが睡眠に与える影響	0-5(0=5分、10=10分)	10
○痛みが歩行に与える影響	0-5(0=5分、10=10分)	5
○痛みが一日の活動に与える影響	0-5(0=5分、10=10分)	0
○痛みの部位		
○痛みの程度	○痛みがほとんどない ○痛みが軽微 ○痛みが中程度 ○痛みが重度 ○痛みが非常に重度	○痛みがほとんどない ○痛みが軽微 ○痛みが中程度 ○痛みが重度 ○痛みが非常に重度
○痛みの原因	○腰痛 ○肩こり ○首の痛み ○手足の痛み ○関節炎 ○神経痛 ○骨折 ○手術後 ○がん ○薬の副作用 ○その他	○腰痛 ○肩こり ○首の痛み ○手足の痛み ○関節炎 ○神経痛 ○骨折 ○手術後 ○がん ○薬の副作用 ○その他
○痛みの治療	○薬物療法 ○理学療法 ○鍼灸 ○認知行動療法 ○心理療法 ○手術 ○その他	○薬物療法 ○理学療法 ○鍼灸 ○認知行動療法 ○心理療法 ○手術 ○その他
○痛みの経過	○改善 ○悪化 ○変化なし	○改善 ○悪化 ○変化なし
○痛みの評価	○満足 ○不満 ○不明	○満足 ○不満 ○不明
○痛みの評価理由		
○痛みの評価者		
○痛みの評価日		

資料 4 生活のしやすさに関する質問票 テンプレート

生活のしやすさに関する質問票

記入者 @USERNAME

初回 継続

記入日

生活のしやすさに関する質問票

7-1 (K/E)

気になっていること、心配している事

「 病状や治療について、詳しく知りたい事や、相談したい事がある
 「 経済的な心配や制度でわからない事がある
 「 仕事について、心配や相談したい事がある
 「 日常生活で困っている事がある (食事・入浴・移動・排泄など)
 「 通院が大変
 その他: _____

からだの症状

0. 症状なし | 1. 現在の治療に満足している | 2. それほどひどくないが方法があるなら考えたい | 3. 我慢できない事がある | 4. 我慢できない事があるから考えたい

■ 評価: _____

気持のつらさ

0. つらくない | 1. 少しつらい | 2. 中くらいにつらい | 3. かなりつらい | 4. 最高につらい

■ 評価: _____

専門家チームへの相談希望

「 痛みなど、からだの症状や気持のつらさに対応する緩和ケアチーム
 「 経済的な問題や、制度の疑問に対応する医療ソーシャルワーカー
 「 自宅での生活がしやすいように、利用できるサービスがあるかを相談したい

からだの症状

全くなかった 0 < 5 < 10 最高につらい

すべて0 ■ 評価

痛み (一番強い時) > > >
 痛み (一番弱い時) > > >
 しびれ > > >
 むむけ > > >
 倦怠感 > > >

息苦しさ > > >
 食欲不振 > > >
 嘔気 > > >
 満満感 > > >

■ 評価

嘔吐 > > > 睡眠 > > >
 便秘 > > > 便性状 > > >
 口腔内の症状 > > >
 その他: _____

気持のつらさ

つらくない 0 < 2 < 4 最高につらい

すべて0 ■ 評価

病気の事 > > > 生活の事 > > >
 検査の事 > > > 家族の事 > > >
 治療の事 > > > 周囲との関係 > > >
 仕事の事 > > > 今後の事 > > >

■ 評価

その他: _____

クリア キャンセル カルテに展開

資料5 生活のしやすさに関する質問票（表紙）

高山赤十字病院（2015.4）

生活のしやすさに関する 質問票



高山赤十字病院



この質問票は次回受診時または入院時に
看護師または病院スタッフに
封筒のままお渡し下さい

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地
TEL 0577-32-1111(代) FAX 0577-34-4155

資料6

生活のしやすさに関する質問票

高山赤十字病院(2015.4)

生活のしやすさに関する質問票

記入日 平成 年 月 日
 初回 継続()
 記入者 ご本人 ご家族 医療者()

■ この1週間で、以下の症状が一番強いときは、どれくらいの強さでしたか？

5 からだの症状について詳しくお伺いします

全くなかった ← 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 → これ以上考えられないほどひどかった

痛み(一番強い時) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 (一番弱い時) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 しびれ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 ねむけ(うとうとした事) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 だるさ(つかれ) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 息切れ(息苦しさ) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 食欲不振 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 吐き気 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 気になっていること、心配していることがあれば、どんなことでもご記入ください

- ◆ 病状や治療について、詳しく知りたいことや、相談したいことがある あり
- ◆ 経済的な心配や制度でわからない事がある
- ◆ 仕事について、心配や相談したいことがある
- ◆ 日常生活で困っている事がある(食事・入浴・移動・排泄など)
- ◆ 通院が大変

3 気持のつらさについてお伺いします

現在のからだの症状はどの程度ですか？
 最も当てはまる数字に○をつけてください。

4 我慢できない症状がずっとつづいている 4 最高につらい

3 我慢できないことがしばしばあり対応してほし 3 かなりつらい

? それほどひどくないが方法があるなら知りたい ? 中くらいにつらい

1 現在の治療に満足している 1 少ずつらい

0 症状なし 0 つかぬない

4 専門のチームへの相談を希望しますか？

- ◆ 痛みなどからだの症状や気持のつらさに対応する緩和ケアチーム
- ◆ 経済的な問題や、制度の疑問に対応する医療ソーシャルワーカー
- ◆ 自宅での生活がしやすいように、利用できるサービスがあるかを相談したい

その他の症状

6 気持のつらさについて詳しくお伺いします

つかぬない ← 0 1 2 3 4 → 最高につらい

病気のこと 0 1 2 3 4
 検査のこと 0 1 2 3 4
 治療のこと 0 1 2 3 4
 仕事のこと 0 1 2 3 4
 家族のこと 0 1 2 3 4
 人間関係について 0 1 2 3 4
 今後のこと 0 1 2 3 4
 その他

資料7 生活のしやすさに関する質問票 説明用紙

高山赤十字病院 (2015.4)

..... 生活のしやすさに関する質問票の記入の仕方.....

高山赤十字病院では、通院中あるいは入院中の皆様に、「生活のしやすさに関する質問票」をお配りしています。これをもとに、検査や治療を受ける中で、身体や心、社会的なつらさを和らげ、自分らしい生活を続けられるよう、医師や看護師、薬剤師をはじめとする専門スタッフが、生活のしやすさについて一緒に考えさせて頂きます。この質問票は、原則として主治医からお渡します。詳しいことは主治医または病院スタッフにおたずね下さい。

特に気になって
いる事や相談した
いこと等を書いて
おきましょう。

症状の強さを
点数で伝えるの
は難しいと思い
ます。
しかし、血圧と
同じように数字
で伝えて頂くこ
とで、医師や看護
師があなたの症
状を理解しやす
くなります。

高山赤十字病院(2015.4)

生活のしやすさに関する質問票

記入日 年 月 日
 口頭 紙面
 記入者 口へ本人 口へ家族 口へ患者

1 夏になっても暑いこと、寒いこと、お風呂、お風呂、お風呂、お風呂

2 2) からの質問についてお答え下さい
 この質問の質問はどの程度ですか？
 最も当てはまる数字に○をつけてください。

4 数値でない場合はお答え下さい
 3 数値でない場合はお答え下さい
 2 それほどもくない方法があるからお答え下さい
 1 回答の機会に質問している
 0 分からない

3 専門のチームへの転院を希望しますか？
 ● 転院を希望するから専門チームへ
 ● 転院を希望するから専門チームへ
 ● 転院を希望するから専門チームへ

5 5) からの質問についてお答え下さい
 この質問の質問はどの程度ですか？
 最も当てはまる数字に○をつけてください。

痛み(一層強い時)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
しびれ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
めまい(回転感)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
だるさ(つかれ)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
息切れ(息苦しさ)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
寒気	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ほてい	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
嘔吐	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便秘	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
便の硬さ</											

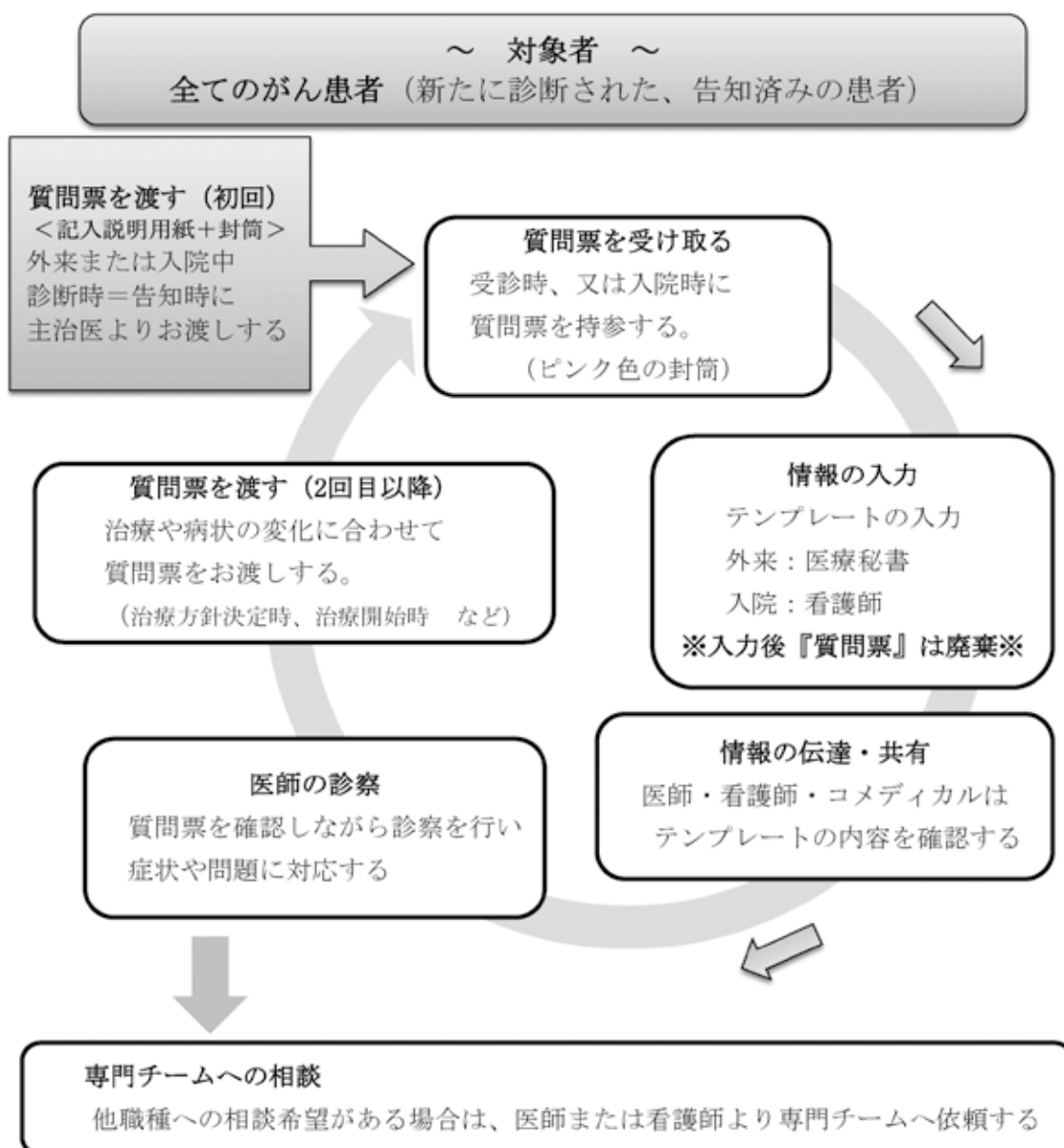
資料 8 生活のしやすさに関する質問票 運用マニュアル

『生活のしやすさに関する質問票』運用マニュアル (2015.4)

「生活のしやすさに関する質問票」は、

1. がん患者がどのようなことを心配しているか？
 2. どのような苦痛がどの程度あるか？
 3. 緩和ケアチームや医療ソーシャルワーカーなどへの相談希望があるか？
利用できるサービスの相談希望があるか？
- 等がわかるように作成されています。

この質問票は、がんと診断された日から使用し、初回は主治医から、2回目以降は、各科外来、入院サポートセンター、病棟、外来点滴室、などでお渡しますので、受け取られた部署では電子カルテに入力し、情報を共有できるようにして下さい。



資料 9

生活のしやすさに関する質問票 テンプレート入力マニュアル

高山赤十字病院

生活のしやすさに関する質問票 テンプレート入力マニュアル

- 「生活のしやすさに関する質問票」は、がん患者がどのようなことを心配しているか、どのような苦痛がどの程度あるかがわかるように作成されています。また、緩和ケアチームや医療ソーシャルワーカーなどへの相談希望があるかがわかるようになっています。
- 「生活のしやすさに関する質問票」は、がんと診断された日から、または、がんと診断された次の受診日から使うことを想定しています。また、診断時に1度だけ使うのではなく、入院時、手術時、化学療法や放射線治療の開始時、治療内容の変更時、治療の中止時、再入院時、など治療内容や病状に大きな変化があったときにも使うようにしてください。たとえば入院中なら、毎週1回質問票を記入するように計画しておいて、大きな変化がなければその週は記入をしない、という運用もあります。
- 「生活のしやすさに関する質問票」は、各科外来、入院サポートセンター、病棟、外来化学療法室、などで配布することを想定しています。外来、病棟、外来化学療法室、などでは看護師が記入のお手伝いをしたり、マンツーマンで記入内容を確認したりしてください。さらに電子カルテのテンプレートに入力し、医療スタッフが情報を共有できるようにしてください。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

「生活のしやすさに関する質問票」テンプレート

The screenshot shows a web-based form titled "生活のしやすさに関する質問票" (Life Ease Questionnaire). At the top, there are fields for "記入日" (Entry Date), "初回" (First Time), "継続" (Continuation), and "記入者" (Entry Person). The form is divided into several sections:

- 気になっていること、心配している事** (Concerns/Worries): A list of checkboxes for items like "病状や治療について、詳しく知りたい事や、相談したい事がある" (I want to know more about my condition/treatment or I want to consult), "経済的な心配や制度でわからない事がある" (I have concerns about financial issues or regulations), "仕事について、心配や相談したい事がある" (I have concerns about work or want to consult), "日常生活で困っている事がある(食事・入浴・移動手段など)" (I have difficulties in daily life such as eating, bathing, transportation, etc.), and "通院が大変" (Hospitals are a hassle). There is also a "その他:" field.
- からだの症状** (Physical Symptoms): A section with a rating scale from 0 to 10. It includes dropdown menus for "痛み(一番強い時)" (Pain at its worst), "痛み(一番弱い時)" (Pain at its least), "しびれ" (Numbness), "むくみ" (Swelling), "嘔吐" (Vomiting), "食欲不振" (Loss of appetite), "悪寒" (Chills), "発熱感" (Feverishness), "呼吸" (Breathing), "排便" (Defecation), "変通" (Change), "便秘" (Constipation), and "口腔内の症状" (Symptoms in the oral cavity). There is also a "その他:" field.
- 気持のつらさ** (Mood): A section with a rating scale from 0 to 4. It includes dropdown menus for "生活の事" (Life matters), "治療の事" (Treatment matters), "仕事" (Work), "今後の事" (Future matters), "経済の事" (Economic matters), "家族の事" (Family matters), "周囲との関係" (Relationships with others), and "過去の事" (Past matters). There is also a "その他:" field.
- 専門チームへの相談希望** (Consultation Requests): A list of checkboxes for "痛みなど、からだの症状や気持のつらさに対応する緩和ケアチーム" (Request for relief team for pain/symptoms/mood), "経済的な問題や、制度の問題に対応する医療ソーシャルワーカー" (Request for MSW for financial/regulatory issues), and "自右での生活がしやすいように、利用できるサービスがあるかを相談したい" (Request for services to make life easier).

At the bottom, there are buttons for "クリア" (Clear), "キャンセル" (Cancel), and "カルテに展開" (Expand to Chart).

生活のしやすさに関する質問票 記入日

初回 継続 記入者

記入日を入力
初回または継続にチェック
継続の場合、選択肢を選んで入力
記入者を入力

気になっていること、心配している事

病状や治療について、詳しく知りたい事や、相談したい事がある
 経済的な心配や制度でわからない事がある
 仕事について、心配や相談したい事がある
 日常生活で困っている事がある（食事・入浴・移動排溺など）
 通院が大変
 その他：

項目を選んでチェック

その他があれば、手入力

からだの症状

0. 症状なし	1. 現在の治療に満足している	2. それほどひどくないが方法があるなら考えたい	3. 改善できない事がしばしばあり対応してほしい	4. 改善できない症状がずっと続いている
---------	-----------------	--------------------------	--------------------------	----------------------

■評価：

からだの症状
クリックするか、評価を選ぶ

気持ちのつらさ

0. つらい	1. 少しつらい	2. やさしい	3. かなりつらい	4. 最もつらい
--------	----------	---------	-----------	----------

■評価：

気持ちのつらさ
クリックするか、評価を選ぶ

専門チームへの相談希望

痛みなど、からだの症状や気持ちのつらさに対応する緩和ケアチーム
 経済的な問題や、制度の疑問に対応する医療ソーシャルワーカー
 自宅での生活がしやすいように、利用できるサービスがあるかを相談したい

それぞれ相談希望があれば入力

緩和ケアチームへのコンサルト ⇒ 文書作成「緩和ケアチーム依頼箋」
 緩和ケア認定看護師 PHS
 がん相談窓口 内線

医療ソーシャルワーカー (MSW) へのコンサルト ⇒ 医療社会事業課 内線 又は MSW の PHS

退院調整課へのコンサルト ⇒ 退院調整課 内線 又は 担当者の PHS

総合相談窓口へのコンサルト ⇒ 医療社会事業課 内線

からだの症状

全くなかった 0 <----- 5 -----> 10 これ以上考えられないほどひどかった

すべて0 ■評価 ■評価

痛み (一番強い時)	▼	息苦しさ	▼
痛み (一番弱い時)	▼	食欲不振	▼
しびれ	▼	嘔気	▼
ねむけ	▼	腹満感	▼
倦怠感	▼		

■評価 ■評価

嘔吐	▼	睡眠	▼
便秘	▼	便性状	▼
口腔内の症状	▼		
その他:			

からだの症状 (詳細) について入力

痛み、しびれ、ねむけ、倦怠感、息苦しさ、食欲不振、嘔気、腹満感 は、0～11の11段階で入力

0 : 全くなかった

5 : 中間

10 : これ以上考えられないほどひどかった

嘔吐、睡眠便秘、便性状、口腔内の症状 はそれぞれ選択肢から入力

嘔吐 : なし

1日1回

2～5回/日

6回/日以上

睡眠 : よく眠れる

眠れる (ときどき起きるが
だいたい眠れる)

眠れない

便秘 : 毎日

週4～6回

週1～3回

なし

便性状 : 硬い

普通

やわらかい

下痢

口腔内の症状

なし

軽度 (あるが普段通り食べられる)

中等度 (食事の工夫が必要)

重度 (十分に食事ができない)

その他 : 手入力

気持ちのつらさ

つらくない ← 0 ————— 2 ————— 4 → 最高につらい

すべて0 ■評価 ■評価

病気の事	▼	生活の事	▼
検査の事	▼	家族の事	▼
治療の事	▼	周囲との関係	▼
仕事の事	▼	今後の事	▼

その他：

気持ちのつらさ（詳細）について入力

- 0～4の5段階
 0：つらくない
 2：中間
 4：最高につらい

【備考】

周囲との関係には、主治医や看護師など医療者との関係が含まれます。

不安、恐れ、自責の念、後悔、不受容、などの気持ちのつらさは、その他に手入力して下さい。

クリア キャンセル カルテに展開

クリア：テンプレートを初期化

キャンセル：テンプレートを閉じる
 （入力した内容は破棄）

カルテに展開：テンプレートを閉じる
 （入力内容をカルテに展開）

※カルテの内容をダブルクリックするとテンプレート画面が再び開きます

—*——*——*——*——*——*——*——*——*——*——*

○この質問票によって、がんと診断された日から始まる患者さんのさまざまな苦痛や悩みを、われわれ医療者が的確にキャッチするきっかけとなるでしょう。それらを全人的苦痛ととらえて多職種で支えていくことができる手助けとなるでしょう。

○この質問票によって、これまで患者の心の中だけにしまい込まれていた気持ちのつらさが表出されるきっかけとなるでしょう。われわれ医療者が患者の気持ちを理解し、より添うことが、患者さんの心の支えとなりより良い治療につながることでしょう。

○この質問票を活用するときは、機械的に問診するのではなく、患者さんの気持ちにより添い支える気持ち「緩和ケアマインド」を忘れずに対応するようにしてください。